

北海道未来づくり環境展2010

# DBJ環境格付融資について

2010年11月



株式会社日本政策投資銀行

# 1. DBJ環境格付の概要

# 「DBJ環境格付」導入の背景

## UNEP FI 2003 Global Roundtable 東京会議

- 2003年10月：UNEP FI東京会議（DBJ共催）が開催  
テーマ「金融が持続可能な社会と価値の  
実現に向けて果たす役割」
- 国内外の主要な金融機関、国際機関、NGO・NPO等  
30カ国100機関から約490名が参加
- 東京会議閉会に際し、世界各国のUNEP FI署名機関の総意  
として、[コンファレンス・ステートメント【東京原則】](#)を発表。



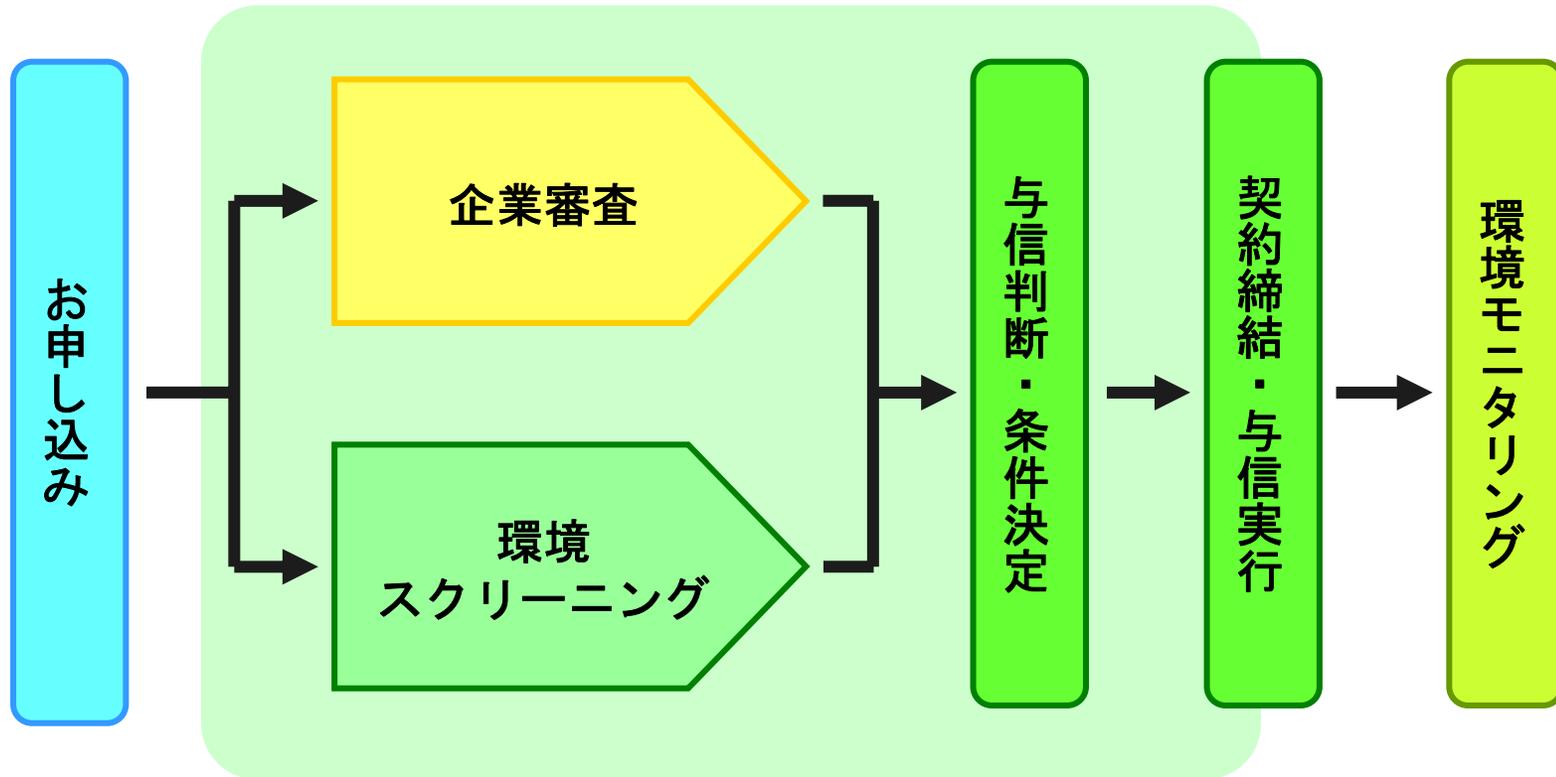
### コンファレンス・ステートメント【東京原則】内容

- ①環境に配慮した投融資対象の選定
- ②環境に資する金融商品の開発
- ③最適なガバナンス体制整備
- ④ステークホルダーとの対話

UNEP (United Nations Environment Programme: 国連環境計画): 1972年設立の環境保全に係る啓発活動、情報提供等を行う国連組織

UNEP FI (Finance Initiatives: 金融イニシアティブ): UNEPと金融関係機関との自主的協定に基づき、1992年に発足した任意団体

# 環境格付融資 プロセス



- 通常の企業審査と並行して、環境スクリーニング（環境格付）を実施。
- 環境モニタリングにより融資後の規律付けも実施。

# 環境スクリーニングの概要

## ■ 評価項目

○「経営全般」

○「事業関連」

○「パフォーマンス関連」

の3分野

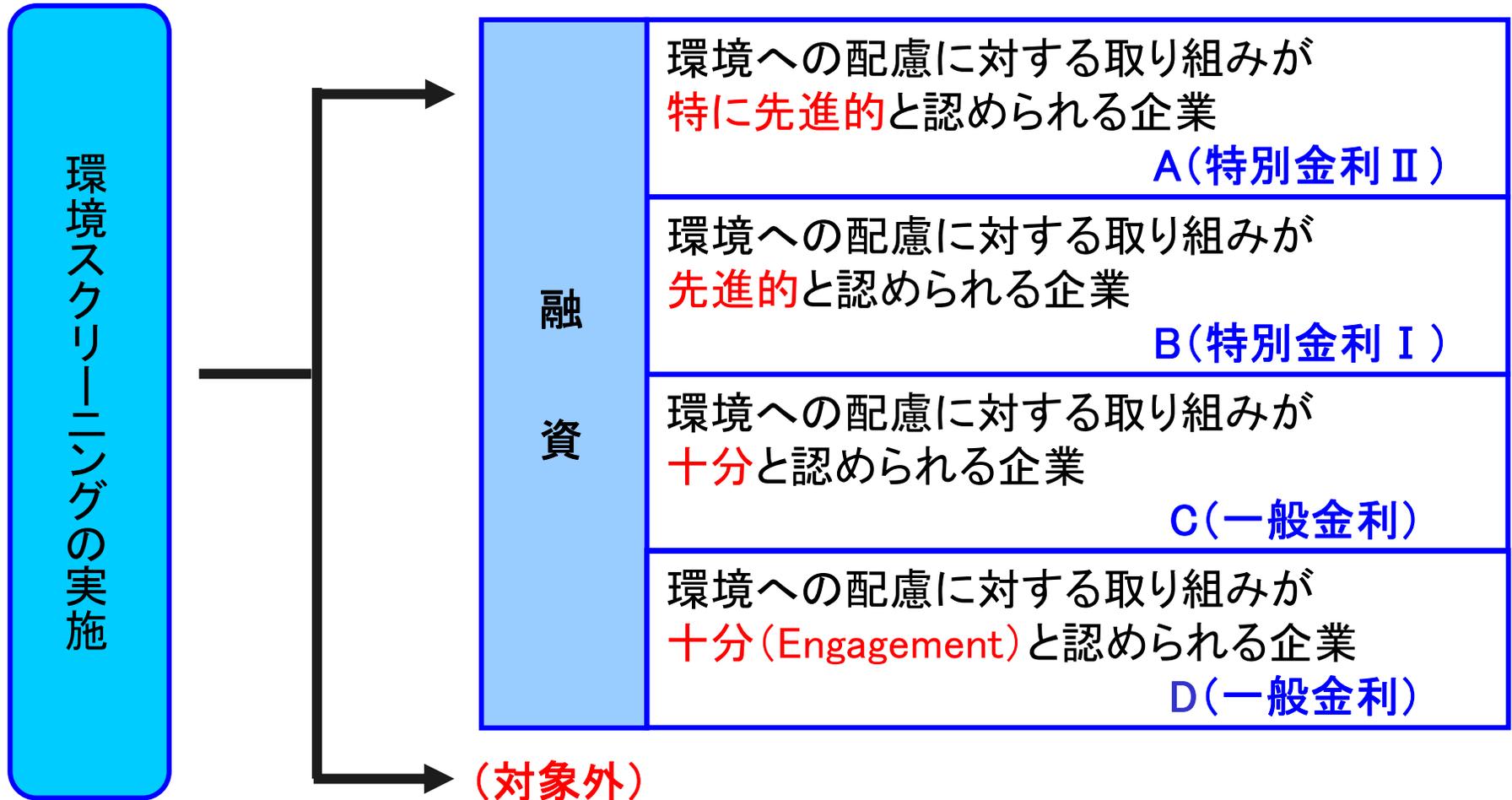
合計約120項目、250点満点

■ 業種特性を勘案し、業種毎に設問を組み替えたスクリーニングシートを用意

製造業の評価項目	
経営全般	A マネジメントシステム
	B コンプライアンス
	C リスクマネジメント
	D 生物多様性・パートナーシップ
	E 従業員
	F 情報開示
事業関連	G 設備投資
	H エコプロダクツ
	I サプライチェーン
	J リサイクル
パフォーマンス 関連事項	K 地球温暖化対策
	L 資源有効利用対策
	M 水資源対策
	N 化学物質管理
	O その他の環境負荷対策

# 商品設計

- 環境経営調査により企業の環境経営度を評点化し、これを融資条件に反映させる**世界で初めての融資メニュー(2004年4月からスタート)**



# 格付ランクの区切り(250点満点)

ランク		大企業	中堅・中小企業 (資本金 10 億円未満)
A	環境への配慮に対する取組が <b>特に先進的</b>	160 点以上	
B	環境への配慮に対する取組が <b>先進的</b>	140 点以上～160 点未満	
C	環境への配慮に対する取組が <b>十分</b>	100 点以上～ 140 点未満	80 点以上～ 140 点未満
D	環境への配慮に対する取組が <b>十分 (Engagement)</b>	80 点以上～ 100 点未満	60 点以上～ 80 点未満
	対象外	80 点未満	60 点未満

- 中堅・中小企業の定義は資本金10億円未満。
- 得点が200点以上となった企業はモデル企業として表彰（ロゴマークで差別化）。

# 環境格付の資金使途

■環境格付融資の上限は単独ベースの環境会計（投資＋費用からなる下表青色の部分）となります。

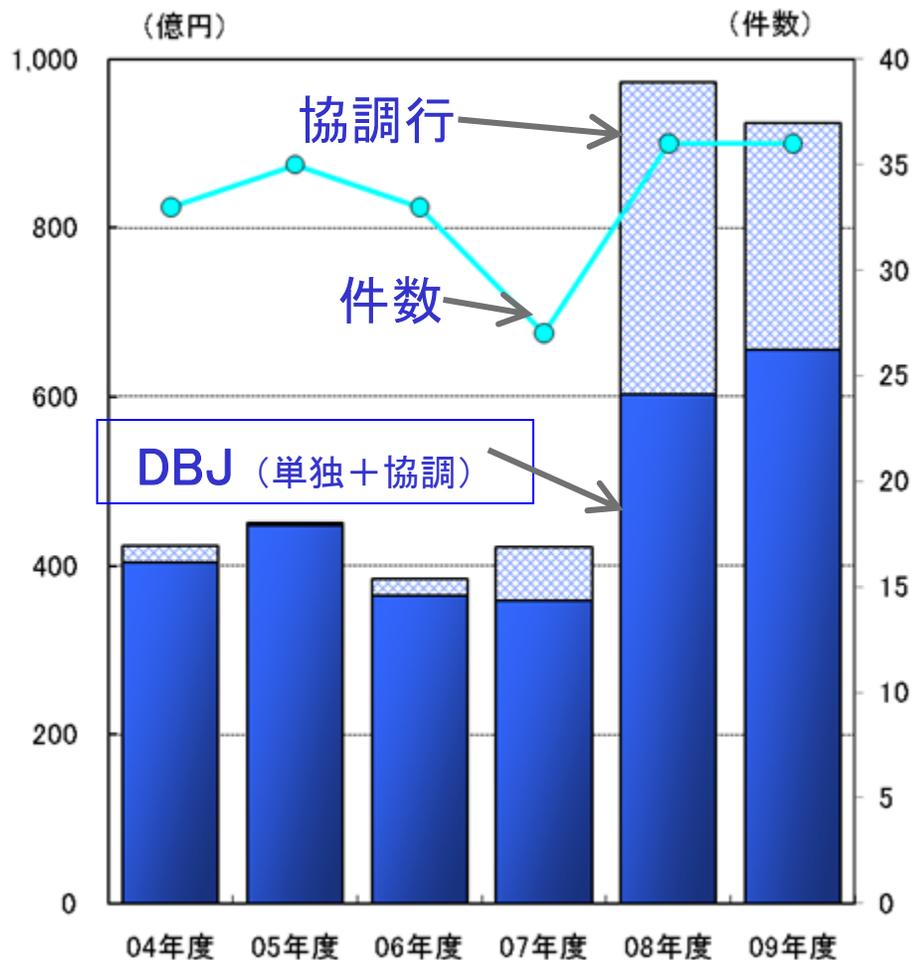
■環境会計を作成されていない企業様は、（差額計上を考慮しない）環境関連**投資**の金額が融資上限額となります。

環境会計ガイドラインに基づく分類		具体的内容	環境保全コスト	
			投資	費用
事業エリア内コスト	公害防止コスト	大気汚染・水質汚濁・騒音振動等防止		
	地球環境保全コスト	地球温暖化防止、オゾン層保護		
	資源循環コスト	資源の循環利用、廃棄物処理		
上・下流コスト		製品・商品等の回収、リサイクル		
管理活動コスト		環境マネジメントシステム、社員教育		
研究開発コスト		環境配慮製品の研究開発費		
社会活動コスト		緑化費用、環境保護団体等への協賛費用		
環境損傷対応コスト		自然修復費用		

## 2. DBJ環境格付の実績

# 「DBJ環境格付」融資実績

2010/9末累計 **3,018億円**、216社



他行との協調融資を含めた「DBJ環境格付融資」は、**3,794億円**

## 最近の環境シ・ローン案件

【2008年度】

住友金属様、南海電鉄様  
キリンHD様、積水化学工業様

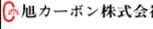
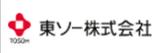
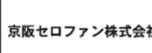
【2009年度】

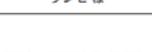
SGホールディングス様、朝日工業様

【2010年度】

エフピコ様

# DBJ環境格付ご利用先一覧(08年度以降)

 mazda マツダ様	 住友金属 住友金属工業様	 宇部興産株式会社 宇部興産様	 大日本スクリーン製造様	 自然派のサラヤ サラヤ様	 西川ゴム工業株式会社 西川ゴム工業様	 日本農薬株式会社 日本農薬様	 横浜ゴム様	 大王製紙株式会社 大王製紙様	 旭カーボン株式会社 旭カーボン様
 DATO DCS & Labeling Worldwide サトー様	 Kaneka カナカ様	 TOYOBO 東洋紡績様	 住江織物株式会社 住江織物様	 JR貨物 日本貨物鉄道様	 TRAD ティラド様	 日立金属株式会社 日立金属様	 DAIHEN ダイヘン様	 GLOBERIDE グローブライド様	 朝日工業グループ 朝日工業様
 ISEKI ISEKI & CO., LTD. 井関農機様	 クボタ 北陸瓦斯様	 YANMAR ヤンマー様	 日本触媒 日本触媒様	 NANKAI 南海電気鉄道様	 MaxValu マックスバリュ中部様	 住友精化株式会社 住友精化様	 DISCO ディスコ様	 SHOWA DENKO 昭和電工様	 エフピコ エフピコ様
 AsahiKASEI 旭化成様	 NEC NECキャピタルソリューション NECキャピタルソリューション様	 JIC 日本インシュレーション株式会社 日本インシュレーション様	 AEON MALL イオンモール様	 日本合成化学 日本合成化学工業様	 Daiichi Sankyo 東ソー様	 TDK TDK様	 京阪セロファン株式会社 京阪セロファン様	 SAKAI OVEX サイカーベックス株式会社 サイカーベックス様	

 KUREHA クレハ様	 Kirin おいさを笑顔に キリンホールディングス様	 Daiken 大建工業様	 新日本印刷株式会社 新日本印刷様
 SEKISUI 積水化学工業様	 JKK JKK東京 東京都住宅供給公社 東京都住宅供給公社様	 近畿日本鉄道株式会社 近畿日本鉄道様	 シーアイ化成株式会社 シーアイ化成様
 UNIZONE ユニゾン様	 GUNZE グンゼ様	 FRESTA フレスタ様	 AGC 旭硝子 旭硝子様
 KOBELCO 神戸製鋼グループ 神戸製鋼所様	 DOWA DOWAホールディングス様	 KAGOME カゴメ カゴメ様	 イチネン イチネン様
		 Sg Holdings SGホールディングス様	

# 環境格付ロゴマーク・使用実例

『DBJ環境格付』を受けた企業様は下記のロゴマークを環境報告書やホームページ等においてお使い頂けます。



2010

(注)

ロゴマーク : 商標登録第5019031号  
DBJ環境格付 : 商標登録第5019032号

	特に先進的 (特別表彰)
	特に先進的
	先進的
	十分
Action phase	十分 (Engagement)

アレフ様



当社は、平成18年12月28日 日本政策投資銀行(dbi)より環境融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。

詳細はこちらをご覧ください

旭化成様

日本政策投資銀行の環境格付融資制度で最高ランクの格付を取得し特別表彰を受ける



当社は、(株)日本政策投資銀行が実施する融資制度「環境配慮型経営促進事業」環境スクリーニング(格付システム)で、最高ランクの評価と併せ格付評価が傑出して高い企業が該当する「特別表彰」を受け、2008年12月に同制度に基づく融資を受けました。

環境格付融資制度とは、日本政策投資銀行が独自に開発した格付システムにより、その評価レベルに応じて優遇金利を設定する世界初の「環境格付融資」であり、優良な環境経営に対して融資される制度です。



日本政策投資銀行の古宮 企業金融第1部長と、当社の総 経理・財務部長

横浜ゴム様

日本政策投資銀行の環境格付融資制度で最高ランクの特別表彰を受賞



当社は2009年12月、日本政策投資銀行(DBJ)より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価され、さらにモデル企業として特別表彰されました。

# 3. DBJ環境格付ご利用企業

# 象徴的な案件 ～道内企業～

アレフ(株)

2006  
年度



## ➤ 外食産業で初の環境格付取得

- ◆ 農薬・化学肥料等に頼らない農業・畜産の研究、厳格な食材の仕入基準
- ◆ 高い再資源化率(外食事業者の食品リサイクル率平均17%に対し、当社は80%以上)
- ◆ 店舗等の熱源に地中熱を取り込むなど、CO2削減への積極的な取り組み



<アレフナチュラルビーフ>

当行の資金は、製造段階や冷暖房に使用する熱源に木質ペレットやバイオガス・地中熱などを取り込むことで、CO2排出量55%削減を目指す北海道工場の新設に、ご利用いただきました。



CO<sub>2</sub> 55%削減  
(当社比)

<北海道工場外観>

# 象徴的な案件～生物多様性への配慮～

## サラヤ(株)

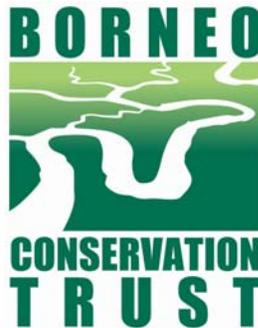
2008  
年度

### ▶ パーム核油の調達に配慮

- ◆ 環境団体などのステークホルダーと共同して生物多様性に配慮した原料調達を推進



パーム核油を原料とするヤシノミ洗剤の売上1%をボルネオ保全トラストに寄付



「緑の回廊」を回復

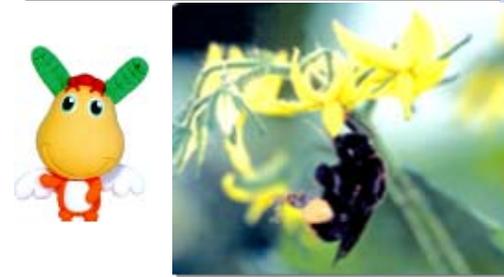


## カゴメ(株)

2009  
年度

### ▶ トマトの授粉で外来種を排除

- ◆ 特定外来生物の生態系への影響をいち早く考慮し、2004年から大規模温室での授粉を在来種に切り替え



＜在来種のクロマルハナバチ＞

# 象徴的な案件～エコプロダクツ体系の構築～



TDK(株)

2010  
年度

日立金属(株)

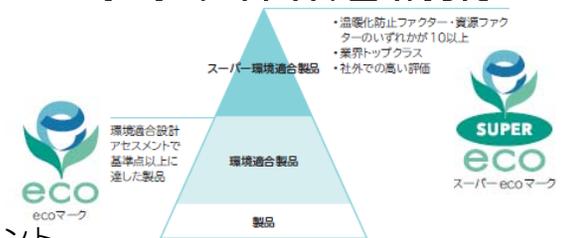
- 高いレベルで環境経営の実践
- 高いレベルでエコプロダクツ体系を構築

- ◆ 世界的規模で環境マネジメントを遂行
- ◆ 環境配慮製品開発に際し、環境への影響を独自評価する製品アセスメントを導入し、これをクリアする製品のみを商品化する制度を採用



TDKでは、環境配慮型製品の中でも環境負荷低減効果が高く、業界においても他をリードする製品を「ECO LOVE製品」、さらにECO LOVE製品の中でも効果が高く業界トップレベルの製品を「SUPER ECO LOVE製品」と認定しています。当社の環境配慮型製品について、詳しくはWEBをご覧ください。  
<http://www.tdk.co.jp/ecolove/index.htm>

- ◆ カンパニー統合型のEMS認証取得
- ◆ 「環境適合設計アセスメント」に基づく製品の設計・開発を基盤に、高いレベルでのエコプロダクツ体系を構築



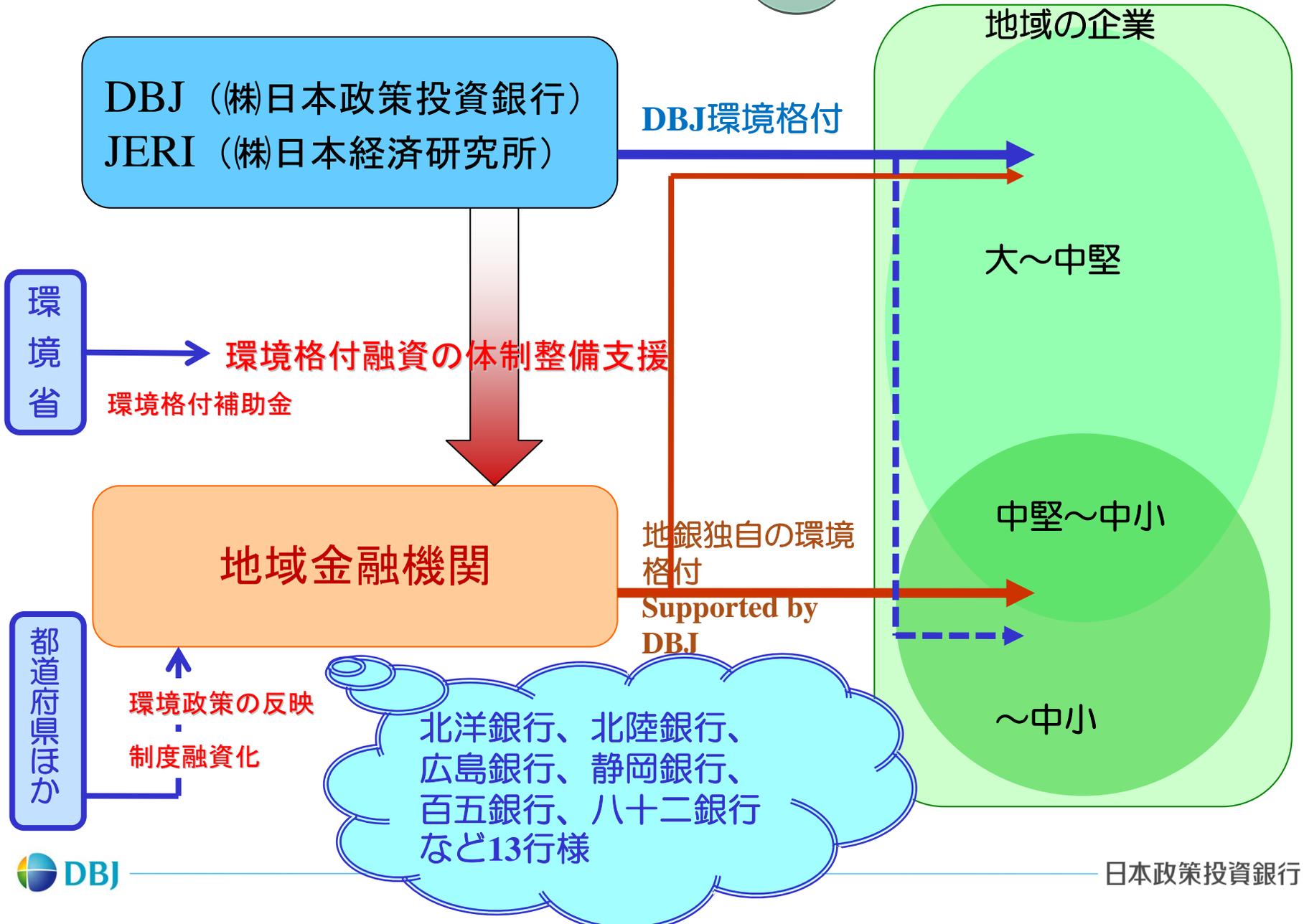
環境適合設計アセスメント

評価項目	評価ポイント
製造段階での環境配慮(化学物質)	グリーン調達、化学物質管理の徹底、化学物質リスクの低減
製造段階での環境配慮(省エネルギー)	生産性向上、省エネルギー設備の導入、エネルギー転換
製造段階での環境配慮(省資源)	再生資源の利用、排出物の再資源化、排出物の発生量低減
製造段階での環境配慮(公害対策)	工場近隣に対する環境負荷の低減
製品における環境配慮(化学物質)	有害物質の不含有、化学物質リスクの低減
製品における環境配慮(省エネルギーなど)	高効率化、低エミッション性、高付加価値化
製品における環境配慮(省資源)	軽量・小型化などの単位資源あたりの機能性
販売・流通および製品廃棄の段階における環境配慮	環境情報の提供、梱包材、輸送負荷、処理分解性

## 4. 地域版環境格付の展開

# [6] 地域版環境格付の展開

2009  
年度



# 5. DBJ成長支援プログラム (日本元気プログラム)

## DBJ成長支援プログラム（日本元気プログラム）の商品ご案内

当行は、日本経済の着実な成長を資金面から一層サポートするため、「地域・生活」、「環境」、「ものづくり」、「インフラ（社会基盤）」、「海外・事業再編（M&A等）」の5分野を対象として、総額で4,000億円の資金枠を確保し、雇用への貢献度も踏まえつつ、地域の金融機関とも連携しながら支援体制を強化しています。

### 地域・生活

DBJリージョナル  
成長プログラム

### ものづくり

DBJテクノロジー  
成長プログラム

### 海外・事業再編

DBJグローバル  
成長プログラム

## 日本元気プログラム

### インフラ

DBJインフラ  
成長プログラム

### 環境

DBJグリーン  
成長プログラム

## DBJグリーン成長プログラム

DBJグリーン成長プログラムは、お客様が行う環境・エネルギー関連の取り組みを支援するため、その必要な資金を融資するものです。

### 対象事業・ご利用資格

#### ① DBJ環境格付プログラム

国内に所在するお客様のうち、企業の環境に配慮した経営を評価する「DBJ環境格付」を取得したお客様が行う環境関連事業を対象とします。

#### ② DBJ環境取組支援プログラム

国内に所在するお客様のうち、ISO14001を取得するなど環境配慮に組織的に取り組んでいるお客様が行う再生可能エネルギー、リサイクル等の各種環境プロジェクトなど環境・エネルギー関連事業を対象とします。



## 6. 地域での取り組み (地域元気プログラム)

# 地域元気プログラムとは

地域が抱える課題：人口制約・財政制約・環境制約・グローバル競争

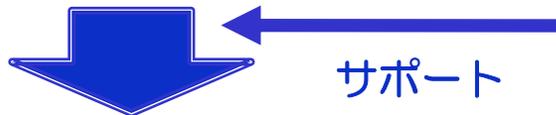


地域ごとの強みや優位性、潜在力を活かした多様な地域発展や地域間連携等が必要

※政府の「新成長戦略(基本方針)」においても、地域は成長のフロンティアのひとつ



- ▶ 全国10支店・8事務所の拠点と自治体・地域金融機関等とのネットワーク
- ▶ 豊富な地域企業・インフラ向け投融資実績、顧客基盤
- ▶ 地域の課題に対する各種情報発信、プロジェクト支援(PFI・PPP他)



地域の強みや潜在力を活かした成長を、情報面・資金面から後押しする弊行独自の取組として、新たに「地域元気プログラム」を設定

地域に対するアドバイザーや提言等、情報面でのサポートを充実させるほか、各支店において、各地域の産業構造等を踏まえて特色のある分野・事業に光をあて、地域金融機関と協調しつつ、通常より金利を優遇した融資により地域をサポート(今後3年間で総額1,000億円程度を予定)

# 各支店の担当エリアにおけるサポート対象分野・事業

## 新潟エリア (新潟)

米を中心とする  
「食の付加価値戦略」の推進

## 北海道エリア (北海道)

- ・食クラスター形成の協働
- ・観光産業の未来づくり
- ・大自然の恵みを活かした環境インフラ構築

## 東北エリア (青森/岩手/宮城/秋田/山形/福島)

- ・クリーン・イノベーション東北プログラム
- ・グリーン・ネットワーク東北プログラム

## 北陸エリア (富山/石川/福井)

ものづくり潜在力を今こそ発揮！

## 関東甲信エリア (茨城/栃木/群馬/埼玉/千葉/東京 神奈川/山梨/長野)

- ・ヒト・モノ集積活用ビジネスの応援
- ・グローバル市場に対応するものづくりの応援
- ・地域観光資源を活用したおもてなし事業の応援

## 中国エリア (鳥取/島根/岡山/広島/山口)

中国地域から「ものづくり」で  
元気発信！

## 東海エリア (岐阜/静岡/愛知/三重)

東海 次世代戦略産業支援プログラム

## 九州エリア (福岡/佐賀/長崎/熊本/大分)

アジアの玄関口・九州の地域力強化

## 関西エリア (滋賀/京都/大阪/兵庫/奈良/和歌山)

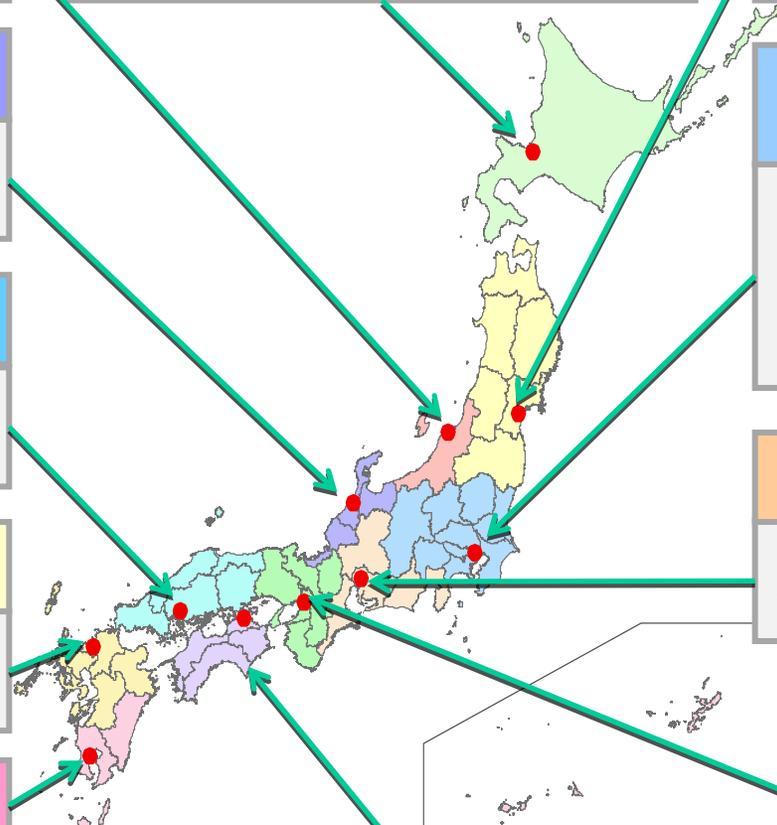
関西先端ものづくり企業サポート  
プログラム

## 南九州エリア (宮崎/鹿児島/沖縄)

南九州を「食・健康・環境」の  
先進地域へ

## 四国エリア (徳島/香川/愛媛/高知)

- ・素材アイランド四国応援プログラム
- ・住んで幸せ 四国の絆プログラム



(c)ESRI Japan



# 北海道エリアにおけるサポート対象分野・事業

## 食クラスター形成の協働

□道産食材の高付加価値化に資する新たなプロジェクト(食品加工、農商工連携、輸出、農業進出等による食クラスター形成に資する事業)

北海道は全国トップの農業産出額、漁獲量、森林面積や食料自給率(200%)を有し、食の高いブランド力や国際競争力を誇りながらも、付加価値の高い食品産業の蓄積が課題となっています。DBJは、これまでも食分野について融資業務をはじめ、レポート「北海道が創る食の未来」を作成するなど情報面でのサポートにも努めてきましたが、本プログラムにより、現在オール北海道で進められている食の高付加価値化への取り組み(食クラスター形成)を、より一層支援してまいります。

## 観光産業の未来づくり

□観光産業事業者のビジネスモデルの高度化に資する事業(個人客、外国人観光客対応、企業再編、ヘルスツーリズム等新タイプの観光、海外からの投資の促進等)

豊富な観光資源を有し、外国人観光客の増加では全国を先導するなど、観光地として抜群の人気を誇る北海道ですが、観光産業事業者は団体客偏重、季節繁閑、低価格競争等の課題を抱えています。DBJは、これまでも融資業務や経営戦略に関するレポート、講演等を通じサポートに努めてきましたが、本プログラムにより、観光産業事業者のビジネスモデルの高度化への取り組みを、より一層支援してまいります。

## 大自然の恵みを活かした環境インフラ構築

□風力発電、太陽光発電、天然ガス、雪氷熱エネルギー、温泉熱等の代替エネルギーの活用  
□民生、運輸部門等におけるエネルギー消費構造の転換やCO2排出削減等に寄与する事業

北海道は冷涼な気候、豊富な資源、広大な土地、長い日照時間等による新エネルギー導入のポテンシャルが高く全国的に期待を受けつつも、道内のエネルギー消費構造の転換が進んでいるとはいえ、環境・エネルギー対策で全国をリードする取り組みが求められています。DBJはこれまでも環境格付融資等を通じサポートに努めてきましたが、本プログラムにより、北海道の特徴を活かした次世代の環境インフラ構築への取り組みを、より一層支援してまいります。

## 「北海道の水ビジネスを考える」研究会を設立（22.7.23プレスリリース）

平成22年7月23日  
北海道大学  
株式会社日本政策投資銀行

北海道大学(総長:佐伯浩)と株式会社日本政策投資銀行(社長:室伏稔、以下、「DBJ」という。)は、平成16年に締結した包括連携協定の一環として、民間企業などとも連携し、「北海道の水ビジネスを考える」研究会」を共同で設立することといたしました。

近年、世界の水問題への関心が高まるなか、新たな水ビジネスへの期待が強まり、我が国でも今後の成長戦略の有望な分野として注目しているところですが、一方で、我が国の水道事業は巨額の更新投資や技術継承などの課題を抱え、事業の再構築が喫緊の問題となっております。

北海道は豊かな水資源に恵まれており、水ビジネスという成長分野にも大きなポテンシャルを有すると見込まれます。その一方で、多くの道内水道事業者は人口密度が低い地域で事業を行っているため経営効率は低く、人口減少過程に入っている地域も多いことから、今後、更新投資などに適切に対応できない事業者が多く生じる懸念があります。

本研究会では、こうした問題意識のもと、持続可能な道内水道を実現するとともに北海道経済の成長促進のため、

- (1)道内水道事業における広域化と官民連携の可能性、
- (2)海外における水ビジネスへの参入可能性、
- (3)北海道の豊かな水資源を生かした起業化の可能性、
- (4)札幌市をはじめとした経営が良好な水道事業者に期待したい役割

などについて、検討していく予定です。

平成22年7月に第1回目の研究会を開催し、以後、平成23年3月まで6回程度の研究会を開催することとしております。

### 【お問い合わせ先】

北海道大学 公共政策大学院 電話番号011-706-4718  
日本政策投資銀行 北海道支店 電話番号011-241-4117

# DBJの地域に対するアドバイザー・提言等（情報面でのサポート）



## 地域の課題解決に資する様々なサポートを実施

→ 各地域の強みと潜在力を後押しするため、更にサポートを充実

### 地域コンサルティング

- ・『地域づくり健康診断』(2009年度末までに29件の診断を実施)
- ・地域での講演活動
- ・自治体向けアドバイザー業務(PFI/PPP、地域インフラ、自治体財政診断 等)
- ・技術経営サポート

### 地域活性化等をテーマとした出版・調査研究・情報発信

- ・出版活動  
『実践！地域再生の経営戦略』等
- ・調査研究・情報発信  
『データでみる地域経済のポイント2010』等
- ・定期刊行物  
『地域ハンドブック』、支店ハンドブック 等



### 地域関係者とのコラボレーション

- ・地域金融機関との協働  
『環境事業に関する業務協力協定』の締結[北陸銀行(2009/9)、北洋銀行(2010/3)] 等
- ・地方自治体・地域経済団体等との協働  
『石川県産業革新戦略2010』における『産業革新戦略検討委員会』への参画 等

## (参考) 北海道カーボン・アクション・フォーラム

### 「北海道カーボン・アクション・フォーラム」設立大会・記念シンポジウム

日時: 平成 22 年 11 月 12 日(金)

【設立大会】 11:30 ~ 12:15

【シンポジウム】 13:00 ~ 16:30

場所: 京王プラザホテル札幌 2 階エミネンスホール

(札幌市中央区北5 条西7 丁目2 -1 )

定員 300 名 / 参加無料

主催: 北海道カーボン・アクション・フォーラム設立発起人会

発起人: 環境省北海道地方環境事務所、経済産業省北海道経済産業局、北海道市長会、北海道町村会、北海道商工会議所連合会、株式会社エコノス、北電総合設計株式会社、財団法人北海道環境財団、NPO 法人北海道グリーンファンド、北海道

#### シンポジウム 第1 部: 基調講演

『北海道における低炭素社会の実現に向けて～環境ビジネスの振興と地域活性化～』

竹ヶ原 啓介 (株)日本政策投資銀行事業開発部CSR支援室長)

【講師略歴ほか】

1989年日本開発銀行(現 (株)日本政策投資銀行)入行。

調査部、政策企画部、フランクフルト主席駐在員を経て、

2008年公共ソリューション部CSR支援室課長。

2009年より現職。

『環境格付－環境金融の情報基盤－』(編著 2010年9月 金融財政事情研究会)

#### シンポジウム第2部: パネルディスカッション